

# JASIAS CHUBU

2009 | 05 | 30 | → | 06 | 01

# 35



## 日本映像学会第35回大会

「映像圏における教育／視覚文化」

会期：2009年5月30日(土)、31日(日)、6月1日(月)

会場：名古屋大学野依記念学術交流館・物質科学研究館

[www.jasias-chubu.org](http://www.jasias-chubu.org)

### 〉会費

#### 大会参加費

正会員・賛助会員	5000円
一般	2000円 (概要集込)
学生	1000円 (概要集込)
懇親会	5000円
エクスカージョン	4000円

第36回通常総会の案内は、学会事務局より5月12日(火)頃に発送する予定です。  
なお、総会への出欠回答、エクスカージョン、5月31日分お弁当の申込期限は、5月23日(土)必着とします。  
また、すでに実行委員会宛に総会欠席を専用フォームよりご連絡いただいている場合でも、学会事務局から郵送される総会の案内(委任状)は必ずご返送いただきますようお願い申し上げます。

### 〉プログラム

#### 5月30日(土)

10:00 - 参加受付・作品上映展示  
10:30 - 12:20 研究発表・作品発表  
13:30 - 15:20 メアリー・アン・ドーン氏特別講演  
「クローズアップ——映画における不動性とスケール」  
15:50 - 17:30 ディスカッション  
18:00 - 20:00 懇親会

#### 5月31日(日)

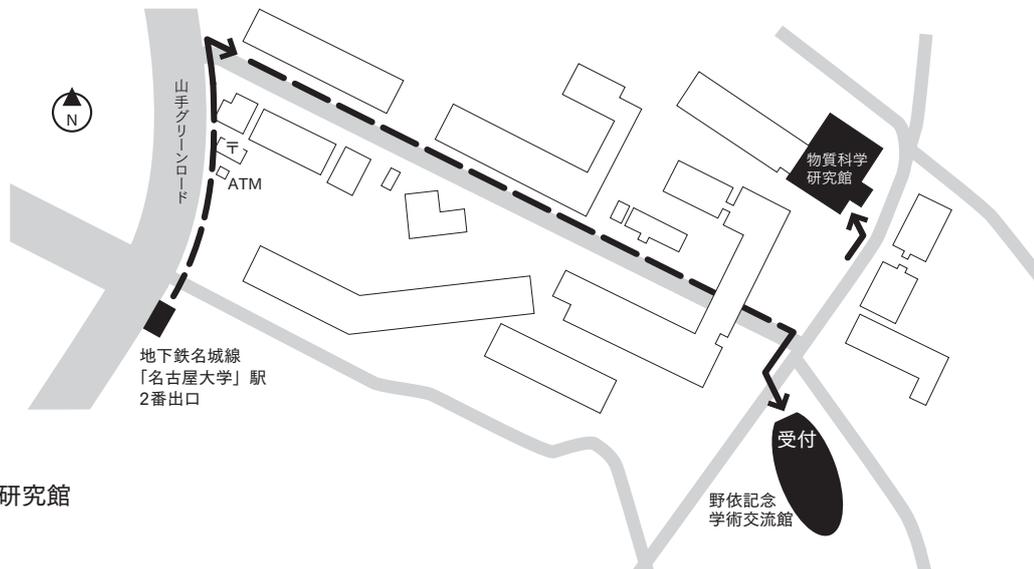
10:00 - 参加受付・作品上映展示  
10:30 - 12:20 研究発表・作品発表  
13:30 - 14:40 研究発表・作品発表  
15:00 - 15:50 第36回通常総会  
16:00 - 17:50 シンポジウム「動画サイトは「教育の場」となるか？」

#### 6月1日(月)

8:00 - 18:00 エクスカージョン

### 〉会場アクセス

名古屋大学野依記念学術交流館・物質科学研究館



- ・名古屋駅より地下鉄東山線一名城線で約30分、「名古屋大学」駅下車2番出口より東へ約5分。
- ・中部国際空港から名鉄に乗車し、名古屋駅または金山駅で下車、その後地下鉄、又は、空港バスにて栄または名古屋駅に出て地下鉄。

---

## ●特別講演

5月30日 13:30-17:30, 野依記念学術交流館

メアリー・アン・ドーン氏 Prof. Mary Ann Doane

「クローズアップ——映画における不動性とスケール」

“The Close-up: Immobility and Scale in the Cinema” (逐次通訳付)

講演者は、ブラウン大学近代文化&メディア学科教授。ジョージ・ハザード・クルツカーの称号をもつ冠教授です。アイオワ大学にて1979年にPh.D.取得後、1980年代以降、英語圏の映画研究の展開において中心的な役割を果たしてきました。主著に、The Desire to Desire: The Woman's Film of the 1940s (1987, 邦訳1991), Femmes Fatales: Feminism, Film Theory, Psychoanalysis (1991), The Emergence of Cinematic Time: Modernity, Contingency, the Archive (2003). があります。

講演後に齊藤綾子(明治学院大学), 和田伸一郎(中部大学)両会員をディスカッサントとして、議論を深めます。

---

## ●作品上映・展示

5月30日 10:00-20:00, 物質科学研究館

5月31日 10:00-19:00, 物質科学研究館

作品発表は口頭での発表のほか、映像作品の上映やインスタレーション作品の展示もおこなわれます。

原将人会員の作品展示は設営の都合上、5月31日(日) 10:30より野依記念学術交流館2Fカンファレンスホールで一回のみ行います。

---

## ）実行委員会

委員長 茂登山清文(名古屋大学情報科学研究科准教授)  
副委員長 池側隆之(名古屋大学国際言語文化研究科准教授)  
委員 秋庭史典(名古屋大学情報科学研究科准教授)  
藤木秀朗(名古屋大学文学研究科准教授)  
幸村真佐男(中京大学情報理工学部教授)  
瀬川晃(岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー講師)  
山口良臣(名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授)  
洞ヶ瀬真人(名古屋大学大学院国際言語研究科博士後期課程)  
林桃子(名古屋大学大学院情報科学研究科博士後期課程)  
水野勝仁(名古屋芸術大学非常勤講師)  
溝渕久美子(名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程)

日本映像学会第35回大会 事務局

名古屋大学国際言語文化研究科 池側研究室内

〒464-8601 名古屋市千種区不老町1

TEL&FAX: 052-789-4348

E-mail: convention@jasias-chubu.org

---

## ●シンポジウム

5月31日 16:00-17:50, 野依記念学術交流館

「動画サイトは「教育の場」となるか？」

映像が教育と関わるのは、従来の意味での映像制作に限りません。現在では、種々の映像を流通させ新たな創造活動を誘発する環境＝「アーキテクチャ」の設計もまた、さまざまな教育分野を貫く重要なテーマとなっています。そうしたアーキテクチャ(およびその象徴としての「動画サイト」)は、情報科学・建築・生態工学のみならず、政治学・法学・経済学・社会学・人類学・視覚文化研究等、さまざまな分野で教育研究の対象になっています。だとしたら、今や動画サイト(およびそこでの映像)は、ひとつの重要な「教育の場」なのではないでしょうか？

こうした動画サイトの可能性について、情報環境研究の濱野智史氏(『アーキテクチャの生態系』著者)、法哲学研究の大屋雄裕氏(『情報とメディアの倫理』共著者)のお二人をパネリストに議論します。

---

## ●エクスカージョン

6月1日 8:00-18:00

名古屋大学→(栄経由)→京都大学霊長類研究所→明治村→  
名古屋芸術大学アート&デザインセンター→名古屋駅

午前中は、アイちゃんやアユムでも親しまれている、霊長類研究の最先端をになう京都大学の霊長類研究所を訪ね、その施設と実験の一部を見学します。実験において果たされてきた映像の役割などについても伺いたいと考えています。その後、同じく犬山市にある明治村へ移動します。登録有形文化財で、明治末大正初期の写真館の面影がしのばれる高田小熊写真館などを見学します。最後に大会の関連展覧会「映像メディアのコンテクスト - MEDIASELECT2009」が開催されている名古屋芸術大学のアート&デザインセンターを訪ねます。霊長類研究所での実験見学者数が限られているために、定員は20名とします。移動は貸し切りバスで、費用は入館料を含めて4000円です。

---

## ●関連展覧会

「映像メディアのコンテクスト - MEDIASELECT2009」

会期: 5月23日(土) - 6月2日(火) 12:00 - 18:00

(日曜休み, 最終日は17:00まで)

会場: 名古屋芸術大学アート&デザインセンター

(名古屋芸術大学 西キャンパス内 <http://www.nua.ac.jp/center/ad/>)

出品作家: 大崎のぶゆき, 岡川卓詩, 河原崎貴光, 丹羽誠次郎, 櫃田珠実, 武藤勇, 山田亘, 吉岡俊直

入場無料

主催: 名古屋芸術大学

共催: メディアセレクト

後援: 日本映像学会第35回大会実行委員会